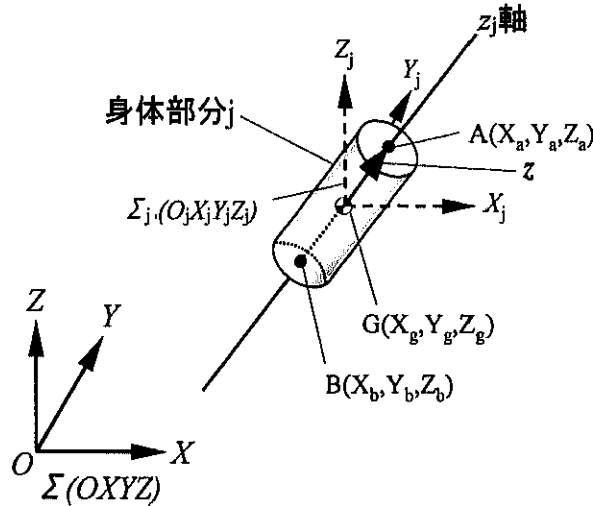


付録 $\Sigma_j(0_jx_jy_jz_j)$ (身体部分jの質量中心を原点とし, 長軸方向を z 軸とする直交相対座標系)の定義方法

身体部分jの質量中心を点G(X_g, Y_g, Z_g), 近位端点を点A(X_a, Y_a, Z_a), 遠位端点を点B(X_b, Y_b, Z_b)とする. ここで, 点G(X_g, Y_g, Z_g)は線分AB上に存在するものとする.

① z_j 軸の決定

点G, 点A, 点Bを含む直線を z_j 軸とする. z_j 軸方向のベクトル z (ベクトルGA) は $X_a - X_g = a, Y_a - Y_g = b, Z_a - Z_g = c$ とすると, $z = (a, b, c)$ である.



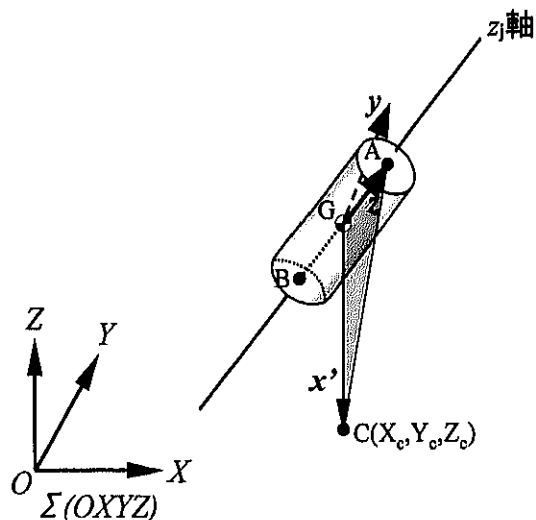
② y_j 軸の決定

点GからXY平面におろした垂線 (Z軸と平行な直線) を考え, 垂線上のある点を点C(X_c, Y_c, Z_c)とする. ここで, 身体部分jの前額面を点A, 点G, 点Cの3点を含む面と定義する (撮影の際には, 被験者には同一の姿勢 (解剖学的基本姿勢) をとらせたので, この定義により, 被験者個々の前額面が異なるというようなことはない). 点Gから点Cへ向かうベクトルを x' とすると, $x' = (X_c - X_g, Y_c - Y_g, Z_c - Z_g)$ である. ここで $X_c - X_g = 0, Y_c - Y_g = 0$ である. また, $Z_c - Z_g = d$ とすると, $x' = (0, 0, d)$ となる. y_j 軸を身体部分jの前額面に垂直な軸 (前後軸) とすると, y_j 軸方向のベクトル y は z と x' の外積から求められる.

$$y = z \times x'$$

$$= \begin{vmatrix} i & j & k \\ a & b & c \\ 0 & 0 & d \end{vmatrix}$$

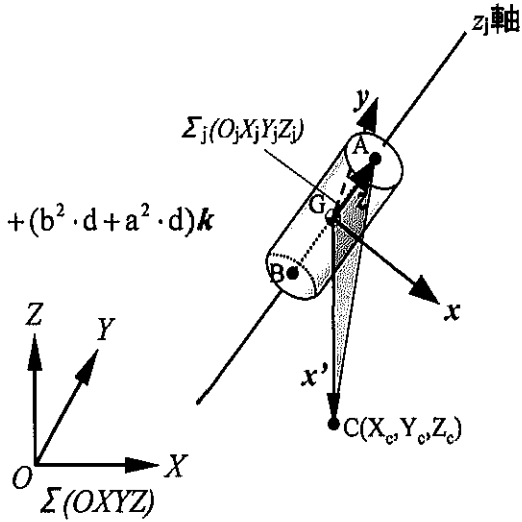
$$= (b \cdot d)i + (-d \cdot a)j$$



③ x_j 軸の決定

x_j 軸方向のベクトル x は y と z の両者に垂直であるから、 y と z の外積から求められる。

$$\begin{aligned} x &= y \times z \\ &= \begin{vmatrix} i & j & k \\ (b \cdot d) & (-d \cdot a) & 0 \\ a & b & c \end{vmatrix} \\ &= (-d \cdot a \cdot c)i + (-c \cdot b \cdot d)j + (b^2 \cdot d + a^2 \cdot d)k \end{aligned}$$



④ u_x, u_y, u_z の算出

x, y, z の各成分をベクトルの大きさで除して単位ベクトル u_x, u_y, u_z を算出する。

以上により、身体部分 j の相対座標系 $\Sigma_j(O_j X_j Y_j Z_j)$ は原点を $G(X_g, Y_g, Z_g)$ にもち、 u_x, u_y, u_z の方向をそれぞれ x 軸（左右軸）、 y 軸（前後軸）、 z 軸（長軸）とする座標系であると定義できる。